

たまたから

観世流謡曲 元和卯月本

37-001

37 たまたから

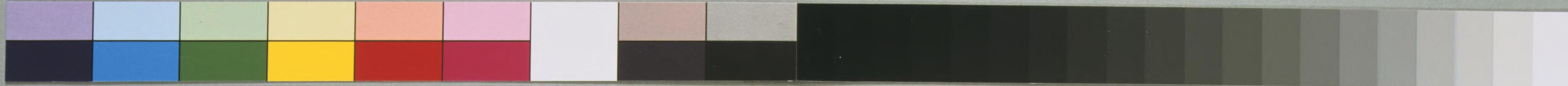
国立国会図書館



かゝらるゝ人々
身のほども信長
たづねてありき類
かまやまの川に
侍てあそびまは
つらやちいらの
くさくさ

くさくさ

是ハ此初瀬寺
あり又此川の
たづね小舟
をさる其の
不審なるは
面白くも



初瀬とふるせふりやうと登
 ある一去り又其れども
 浪小舟りて謂りあるも後
 心^心のうらやまもさし後
 せよ^{上三音}なほうらやま
 色つく本^本のせうせうと風も
 ふうりよと雲よ日影もあやう

せうせうと雲よ日影もあやう
 何れも^下の詠りまて^下又^下歌^下い
 もや面白や^下のうらやま^下とつ
 つま^下のうらやま^下とつ
 あり^下のうらやま^下とつ
 あす^下のうらやま^下とつ
 ま^下のうらやま^下とつ
 補^下のうらやま^下とつ



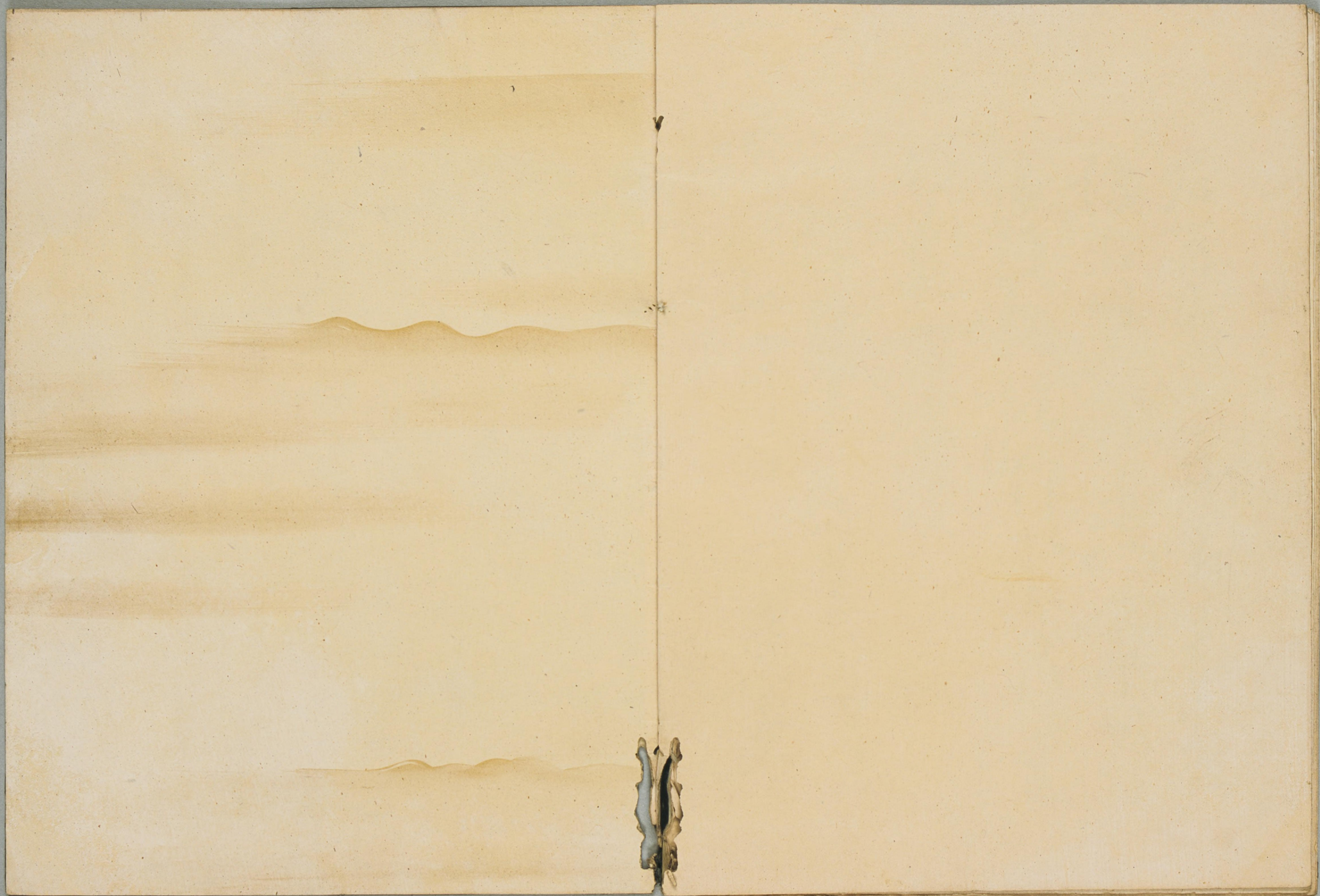
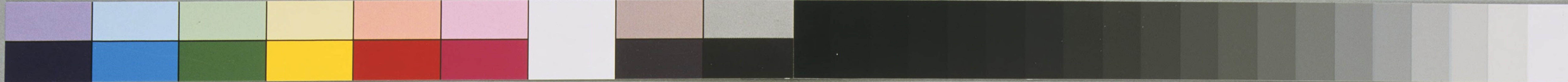
らるるしもよし
中々も我の浮たる舟の
ぶよあつらふと水鳥のく
まごふしちしとらまは
しぬや乃福と思ひあま
るもあし東乃やまて
まてももよもふとせり
寺子

まそつ
契りハ初瀬山尾し
まよしの思ひた
んよ二度あつら
書けはさるし
まよ乃造衛も
法衣さるも乃
まよ乃玉あ
まよ乃玉あ



右百番之内有象小直
傳石岡が左妻の音早句付
依波板起程以今清書
加奥あり早

元和六年 親世在近大文
卯月日 音早



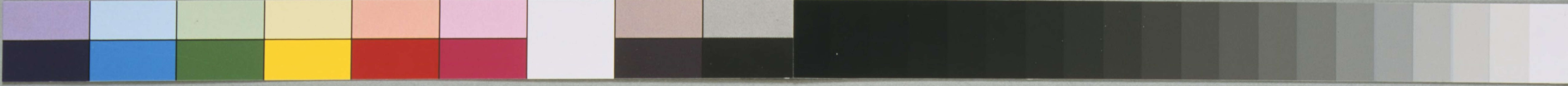
観世流謡曲 元和卯月本

37-013

37 たまかつら

国立国会図書館





観世流謡曲 元和卯月本

37-014

37 たまかつら

国立国会図書館

